

【研究主題】

新科目「公共」の目標や内容の趣旨を踏まえた学習プログラムの開発・実施
 「徳島県鳴門市のまちづくりを考える」～5年先，10年先，私たちが住み続けるまちであるために～

【開発するプログラムの概要】

「徳島県鳴門市のまちづくり」について1年目は，ワークショップ等を通じて課題を探り，2年目は1年目の学びから浮かび上がった課題を鳴門渦潮高等学校と共有しながら協力し，行政や議会に対しアイデアを提言して，その内容の評価も依頼する。

実践内容 ※開発するプログラムから一部抜粋

<高等学校・2年生> 公民科（倫理）

【単元名】民主社会と自由を求めて（大項目(3)ア）

【主な単元の目標】倫理に関する概念や理論を活用して課題解決の方向性を探る。

【学習課題】「5年先，10年先の鳴門市の未来につながる提案はどのようなものか」

時間	主な学習内容	
	公民科（倫理）	関連付けた他教科等
1	社会契約説	総合的な探究の時間 なると未来づくり総合戦略
2/3	功利主義	総合的な探究の時間 生涯学習まちづくり出前講座の活用
4	社会主義思想	
5/6	カントの道徳法則，人格の尊厳	
7	ヘーゲルの人倫の思想	
8/9	実存主義	
10	現代の正義論	

※単元名の（ ）内は学習指導要領の内容の該当番号

【実践例】※公民科「カントの道徳法則」第5/10時

授業の概要

<概要>

問い：「普遍的な道徳とは何か。理想的な社会とは何か。」

【授業の展開】

- ・カントの道徳法則について学び，「普遍的法則になりうるような格率にしたがって行為せよ。」の解釈を通して義務論的な見方を理解する。
- ・JR四国の運賃値上げを題材に，実現したい社会像や大切にしたい価値について，倫理の理論や概念を活用して考える。
- ・公共交通に関する個々の生徒の考えをマトリクス上に示し，持続的なまちづくりの在り方について考えを深める。

<指導上の工夫>

○地域や社会生活における具体的な課題等を自分との関わりの中で捉えられるようにするための指導上の工夫

- ・鳴門市のまちづくりに関するアンケートを作成・実施し，その結果から，多様な世代や立場から利便性の向上を望む声が多かった公共交通機関について，題材に設定。
- ・鳴門市の公共交通，教育，子育て，にぎわいの創出に関する意見書を鳴門市に提出し，課題解決に関わる体験を得る。

○公民科と他教科等との連携

- ・総合的な探究の時間で学んだ鳴門市の課題について，公民科の視点から課題解決の在り方を考えた。

専門家や関係諸機関等との連携・協働

- ・鳴門市企画戦略課による出前講座「なると未来づくり総合戦略」
- ・鳴門市議会事務局「鳴門市高校生会議」・鳴門市「生涯学習まちづくり出前講座」
- ・鳴門教育大学…単元構想，授業実践における指導・助言，関係諸機関との連携に係るコーディネーター



効果等

◆連携の機会を見通しと振り返り，成果発表の場面とすることで，学びの調整を促すことができた。

→評価資料として，成果物を作成し，その過程を見取り評価する。

◆「若者の社会参加で社会は変わると思うか」…かなり変わる 20%→60%

◆「社会参画意欲はどのくらいか」…高い・やや高い 17%→65%

【研究主題】

新科目「公共」の目標や内容の趣旨を踏まえた学習プログラムの開発・実施
 「徳島県鳴門市のまちづくりを考える」～5年先, 10年先, 私たちが住み続けるまちであるために～

【開発するプログラムの概要】

「徳島県鳴門市のまちづくり」について1年目は, 外部人材活用を通して課題を探り, 2年目は1年目の学びから浮かび上がった課題を鳴門高等学校と共有しながら協力し, 行政や議会に対しアイデアを提言して, その内容の評価も依頼する。

実践内容 ※開発するプログラムから一部抜粋

<高等学校・3年生> 公民科（政治・経済）

【単元名】民主政治の基本原則（大項目(1)ア）

【主な単元の目標】地域の課題解決に主体的に取り組む意識を高める。

【学習課題】「5年先, 10年先の鳴門市の未来につながる提案（どのようなものか）」

時間	主な学習内容	
	公民科（政治・経済）	関連付けた他教科等
1	鳴門市の財政の現状と課題	外部講師による授業
2	鳴門市の現状と課題	総合的な探究の時間 (地元企業・団体を訪問)
3	地方自治制度	
4	住民の権利(1)	
5	住民の権利(2)	
6/7	政党政治と選挙制度	
8	民主政治における世論の役割	

※単元名の（ ）内は学習指導要領の内容の該当番号

【実践例】 ※公民科（政治・経済） 「地方自治制度と住民の権利」 第3-5/8時

授業の概要

<概要>

問い：「私たちはどのように社会を形成していくか」

【授業の展開】

- ・フィールドワークで得た知識を振り返る。
- ・自分たちが地域のことをどう思っているか, formsを活用し, 「テキストマイニング」により分析した資料を通して確認する。
- ・鳴門市が抱える課題を再度確認する。
- ・グループワークを通して, 他者の意見を聞きながら課題解決策を考察・構想する。
- ・鳴門市観光課の資料なども参考にしながら, 持続可能な課題解決を探る。

<指導上の工夫>

○地域や社会生活における具体的な課題等を自分との関わりの中で捉えられるようにするための指導上の工夫

- ・鳴門市のまちづくりに関するアンケートを作成・実施し, 幅広い層の市民の意見を課題解決の手がかりとする。
- ・フィールドワークを通して, 市内の現状を把握する。
- ・鳴門市の風土を活かした, にぎわいの場の創設に関する意見書を鳴門市に提出し, 課題解決に関わる体験を得る。

○公民科と他教科等との連携

- ・総合的な探究の時間で学んだ鳴門市の課題について, 公民科の視点から課題解決の在り方を考えた。

専門家や関係諸機関等との連携・協働

- ・鳴門市財政課・鳴門市議会事務局・鳴門市観光課
- ・税務署・税理士・地元企業(4企業1団体)
- ・鳴門教育大学…単元構想, 授業実践に係る指導・助言
- 関係諸機関との連携に係るコーディネーター



効果等

- ◆連携の機会を見通しと振り返り, 成果発表の場面とすることで, 学びの調整を促すことができた。→評価資料として, 成果物を作成し, その過程を見取り評価する。
- ◆「自分たちが住む・通う鳴門市に関心をもっているか」…ややもっている・かなりもっている 38%→92%
- ◆「今後, 主権者として社会参画する意欲はどのくらいか」…やや高い・高い 26%→88%